

## 花と緑で旭を元気にするプロジェクト協議会 総会議事録(案)

1 開催日時 平成26年4月24日(木) 14:00~15:00

2 開催場所 飯岡福祉センター 研修室

3 出席者 26名

会長：戸井 副会長：渡邊(義) 会計：加藤(詩) 事務局：旭市企画政策課(伊地知・小倉) 旭市区  
長会(平野・東町・磯村・横根東浜・大嶋・川端町・土屋・八軒町・高野・平松岡・向後・萩園・小林・双葉  
町) NPO光と風(石井・平澤・渡邊(昌)・前田・増田・近藤・船倉) 宮内 齊藤 太田 北原  
オブザーバー 秋元・小倉(PJ in 流山) 山添(千葉科学大学生) (順不同 敬称略)

4 議案

事務局である旭市企画政策課が司会進行となり、規約により戸井会長が議長となった。事前に配布された次第に従い、審議に入った。

議題1 平成25年度事業報告及び決算について

事務局が資料に基づき、次の説明を行った。収入は、旭市の補助と寄付・協賛(団体2口、個人5口)、支出は、コミュニティーガーデンづくりの赤土・花苗・手押し井戸ポンプの代金、「いいおか津波を語り継ぐ集い(花咲く集い)」と「遊歩道整備」の助成が主であった。昨年7月末からの延べ参加者数は約700名である。残金は次年度へ繰り越す。会計監査の結果を事務局が代読、一同異議なく承認した。

議題2 平成26年度事業計画及び予算について

事務局が資料に基づき、次の説明を行った。収入は、旭市の補助金とセブンイレブン財団からNPO光と風を通じた助成金と、寄付・協賛金と繰越金である。事業は昨年度の活動を発展(部会活動の充実)させる。なお、1年間フル活動となり、予算規模は2倍以上となった。また旭市の補助は、直接清算から補助事業として補助金を交付する仕方に変更となる。一同異議なく原案を承認した。

議題3 規約の改正について

議長の指名で、事務局が改正の主旨説明をした。花と緑PJの事業活動内容をより丁寧に記載し、顧問・アドバイザー・部会・役員会などのほか、会員以外の参加をより推進するためサポーターの用語を加える改正案である。意見交換があり、若干の字句訂正を行った上、拍手をもって承認した。

議題4 役員の選出について

事務局から、本会を構成する各団体で人事改選中であること、現役員は昨年8月に選出された旨の報告があった。これを受けて議長から、本日の選出を猶予し、現役員の任期が1年を超えない範囲で延長し、会の趣旨に適う人選を行うことを条件に、会長へ一任する提案があり、一同異議なく了承した。

5 その他

- 旭市企画政策課より、旭市復興計画に関連する緑の防潮堤の予定(5・6月協議会発足、9月詳細確定、10月工事開始、12月植栽選定、翌3月1,000㎡の盛土で試験的植栽)の説明があった。県市関係者他、有識者、市民代表などで構成する協議会への花と緑PJから参加要請があり、本件を受諾した。
- オブザーバー：秋元より、ちいさな森づくり in 流山プロジェクトについてのプレゼンがあり、花と緑PJに協力したいと意思表示と合わせて、桜・ツツジ・流山のどんぐりの苗、計30本の寄贈があった。(翌日、遊歩道整備の一環として、海津見神社へ植樹した。)

以上

(記録：NPO光と風事務局)